

令和5年度第1回習志野市市民参加型補助金審査委員会議事録

1 開催日時 令和5年4月8日(土)午前10時~10時25分

2 開催方法 オンライン(Zoom)

3 出席者

【委員長】 牧野 昌子

【委員】 齊藤 恵子

田島 則行

高岡 明美

松井 秀明

山野井 武

【事務局】協働経済部 部長 根本 勇一

次長 小倉 一美

協働政策課 課長 河栗 太一

係長 柴野 タ子

【発表者】 きらっといっぼの会 2人

【視聴者】 0人 (関係課職員 5人)

4 会議内容

第1 会議録の作成等

第2 会議録署名委員の指名

第3 報告 (1) 令和4年度習志野市市民参加型補助金事業実績報告について

5 会議資料 令和5年度第1回習志野市市民参加型補助金審査委員会に関する資料

※別添資料

会議次第

資料1 習志野市市民参加型補助金審査委員会スケジュール

資料2 令和4年度習志野市市民参加型補助金 申請事業一覧

参考 ・習志野市市民参加型補助金審査委員会設置要領

・習志野市市民参加型補助金審査委員会委員名簿

6 会議内容

第1 会議録の作成等

要点筆記とする。

第2 会議録署名委員の指名

齊藤委員、田島委員

第3 報告 (1) 令和4年度習志野市市民参加型補助金事業実績報告について

【河栗協働政策課長】

資料1、資料2について説明。

※質疑なし

【きらっといっぽの会】

実績報告（発表）

【牧野委員長】

作成したチラシと冊子は、とてもやさしい感じで、皆さんの目に留まったのではないかと思います。

報告書を確認させていただいたが、アンケートの依頼、ポスター・チラシの配架など、本当に大変だったと思うが、そのことにより、さらに理解が深まっていくのではないかと。

市民活動団体として、当事者だからこそ、伝えるべきことがある。市民性や当事者性を発揮した活動であったと思う。

チラシ・ポスター等に対するたくさんの感想を読ませていただき、お互いにやさしい眼差しを向け合えるような地域にしていきたいとあらためて感じた。

「温かく見守ってください」という言葉は、障がいのある人たちにとって「やさしいまち」というのは、高齢者やいろいろな方々に対しても「やさしいまち」。「温かく見守ってください」という言葉どおり、高齢者やいろいろな方々に対しても「やさしいまち」。活動の成果を見せていただいて、改めて「温かく見守ってください」の言葉どおり、お互いに温かく見守ることができれば、市民にとって住みやすいまちになると感じた。

令和5年度も市民参加型補助金事業として採択されている。当事者だからこそ、サロンの活動へと進化させていただきたい。期待しているので頑張っていたきたい。

【高岡委員】

チラシは、市内のどこの掲示板でも見ることができる。自分の活動でも掲示板にチラシを貼ったりするが、掲示することの大変さはよくわかる。自己評価書にも掲示後の確認・見守りが必要であると記載されていたが、自身の活動からも、掲示物がはがされたり、色褪せたり、天候によって破けたりすることから、定期的な見守りや貼りかえが必要だと思う。

アンケートに「自分の子がこのような子として生まれてくるまでは、私自身も知的障がいのある方に理解がなかったので、小さい頃からの教育が必要じゃないかと思う」と記載があったが、当事者同士の集まりにするのではなく、それ以外の方との交流が大事なのではないかと思う。子どもがいたほうが馴染みやすいので、大人だけではなく、子どもも含めた交流をぜひ深めていただきたい。

【田島委員】

大変頑張っていると思う。実績の報告では補助金をどのように活用したか、チラシ・ポスター・小冊子について説明をいただいた。補助金事業として採択されたのは、チラシや冊子の向こうにある団体の活動に共感したからというところがあるのではないかと。

チラシの先にある活動や触れ合いという部分をより多く伝えていただけるようにしていただけるとよい。引き続き頑張っていたきたい。